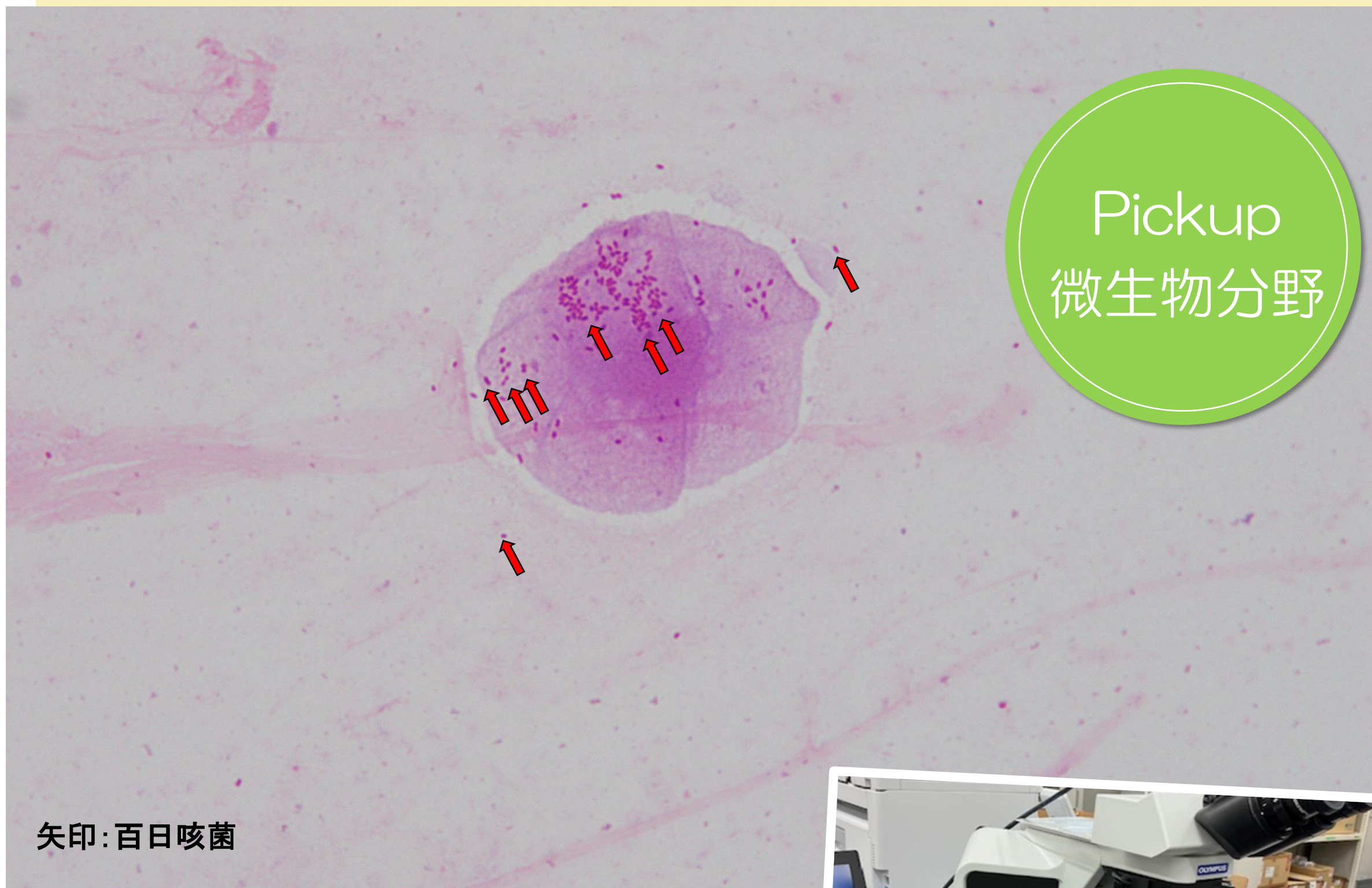




矢印：百日咳菌

百日咳（ひゃくにちぜき）

百日咳とは、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）の感染によって、激しい咳を特徴とする急性の呼吸器感染症です。

世界的にみられ、いずれの年齢でもかかる可能性があります、小児が中心となっています。



百日咳菌の性状・特徴

- くしゃみ、咳などによる飛沫や接触で感染します。感染力は強いです。
- 潜伏期は通常7～10日となっています。
- 新型コロナウイルス感染症対策が緩和された2023年以降より、報告数が増加しています。



Close-up 百日咳

百日咳の流行は国内外でも拡大しています。報告数は今後も増加していく可能性が高いです。

百日咳の症状、検査、治療方法についての豆知識です。

症状



経過は3期に分けられます。

①カタル期：普通の風邪のような症状で、次第に咳の回数が増加します。通常1～2週間です。

②痙咳期（けいがい期）：けいれん性の咳発作で、2～3週間続きます。「ヒュー」という音を伴う咳発作が特徴です。肺炎や脳症を合併することもあります。

③回復期：激しい発作は次第に治まります。回復するのに約2～3か月かかります。咳込むことで嘔吐を伴うことが多いです。発熱することはあまりありません。



検査



- 培養、同定：百日咳菌が培地に発育するか確認します。薬を飲む前に検査します。
- 遺伝子学的診断：PCR法、LAMP法などで百日咳菌の遺伝子が検出されるか確認します。感染初期に検査します。
- 血清学的診断：血液で百日咳菌に感染したか確認します。発症期と回復期（感染後2週間以降）の2回検査をします。

治療方法

• 抗菌薬の投与

初期であれば症状の軽減が期待できます。

排菌を抑制し、周囲への拡散を防ぐためにも、抗菌薬治療をおこないます。



出典：厚生労働省ホームページ（百日咳 | 厚生労働省）

Key Point

百日咳の予防にはワクチンの接種が有効です。ワクチンの普及とともに各国で百日咳の発生数は激減しています。しかし、ワクチン接種を行っていない人や接種後年数が経過し、免疫が減衰した人での発病はわが国でも見られており、世界各国でいまだ多くの流行が発生しています。

手洗いの徹底やマスクの着用など、基本的な感染対策も重要です。強い咳が2週間以上続くような場合は早めに医療機関を受診しましょう。



<お問い合わせ先>

検査に関するお問い合わせ、ご要望は下記連絡先にご連絡ください。

〒471-0821 愛知県豊田市平和町1-62

TEL：0565-25-3165（代）

FAX：0565-25-3166（代）

次回のテーマ

生化学/免疫部門より

「血糖・HbA1c」に関するらぼニュースをご案内予定です。

過去のらぼニュースは下記からご覧いただけます

会社ホームページ <https://www.goodld.com>

